

～卒業生からのメッセージ②～

「前もった準備の重要性」

Sくん（佐久中学校出身）
体育学部スポーツ 医療学科

私がこの大学に決めたのは、三年生の4月ごろです。1，2年生のころは専門学校に行こうと考えていました。しかし、担任の先生や先輩などの話を聞いたりしているうちに大学に行ってみたいと思い、大学に行くことに決めました。自分が目指した大学は正直レベルが高く、担任の先生からも「この一年間本当に勉強しないと厳しいぞ」と言われました。また、オープンキャンパスに行っても様々な学校を見た中でも、自分は絶対この学校へ行きたいと思い、他の選択肢を考えずに一本に絞りました。それからは、勉強をするしかありませんでした。学校のほうでも大学などを目指している人のために自習教室などを設けてくれ、問題集を配布したりなどを行っていたため自分も参加をし勉強しました。夏休み前までは一般入試で受ける教科を決め、その教科の問題集などをひたすら解き、復習やまとめを毎日行っていました。大学のAO入試を受けることにしたため、6月ごろから小論文の勉強を始めました。最初は小論文の書き方すらわかりませんでした。しかし2日に1回ぐらいのペースで小論文の練習問題を書き、夏休みに入ってもお盆以外のときは、ほぼ毎日学校に行き小論文を提出して、添削をしてもらい、直したのをまた次の日に出すといった感じで小論文の練習を行ったことで最初のころに比べてかなり上達したとおもいます。そのため小論文は数をこなさない限りうまくはなりません。たくさん書くことで様々な視点から考えても納得してもらえるような意見を書けるようになると思います。夏休みがあけると、文化祭もありAO入試の出願期間もあり2つが重なり忙しくなりました。しかし三年生最後の文化祭ということもあり、いい物にしたいという気持ちが増さってしまい、出願期間の一週間前に迫っているのにも関わらず、出願に必要な書類が一切完成していませんでした。正直出願ができるか不安でかなり焦っていました。学校に8時ぐらいまで残り、先生にも迷惑をかけながら、なんとか書類を完成させることができ出願できました。そのため、どんな書類提出が求められているか確認をし、出願日当日に出せるようしっかりと計画を立てながら

書いていたらこのようなことにはなっていないと思います。出願が終わりその二週間後には試験もあり、面接練習も行わなくてはなりませんでした。普通なら二週間前から面接練習を行うのは遅く、自分はあまり練習をしないまま試験に臨んだため不安が大きかったです。なので、一ヶ月前から様々な先生とやっておけば余裕ができ確実に様々な視点からの質問に対しても自信をもって答えられるようになったと思います。

最後まで諦めなければ進路実現できると思うのでがんばってください。応援しています。